

〒260-0031 千葉県千葉市中央区新千葉2-17-6
E-mail:kidchiba@lily.ocn.ne.jp

サンコート新千葉102号

TEL:043-301-7262 FAX:043-301-7263

発行責任者：特定非営利活動法人 子ども劇場千葉県センター

2016年4月10日発行 第80号 1部100円 <http://chiba.gekijou.org/>

くも 房総



高橋亮平さんプロフィール

1976年生まれ。中央大学特任准教授、NPO法人Rights代表理事、NPO法人万年野党事務局局長ほか。元市川市議、元松戸市政策担当官・審議監。AERA「日本を立て直す100人」に選ばれる。主著に『世代間格差ってなんだ』

●我々が目指したかったのは、「もつと若い人たちの声を聴いてもらえる社会」だ

選挙権」が実現した。5年6月、念願の公職選挙法は改正され、「18歳選挙権」が実現した。党で合意したことなので、決まっていたことだ。引き下げるべきである。」と主張し、遂に2015年6月、念願の公職選挙法は改正され、「18歳選挙権」が実現した。

そこで、新しい政治家たちに「若者はこういうことを感じ、望んでいる」という世論を感じさせ、意識させ、かたちを作りたかった。

OECD諸国の選挙権のスタンダードは87%が18才以下で、日本と韓国だけが18才以上だった。選挙権引下げ実現のための方法として、若い人たち150人くらいを集め、当時の7党の国会議員青年代表を呼んで働きかけた。そういうかたちをつくった理由は、18歳選挙権について若い人にアンケートをやると、必ずしも求められていないことがわかったからだ。長い間の20歳選挙権の選挙制度からイメージできないと新しいことは選択肢に入りにくいと感じた。

●政治課題になりにくい「18歳選挙権」実現のためには、世論を政治家に感じてもらうかたちを作る必要があった！

この夏の参院選から18歳選挙権が実現し、新たに240万人の有権者が殖えます。高橋さんが語る、選挙権はもちろん「子どもや若者に関する政策に当事者が参画する重要性」の話から私たちは何を受け取るでしょう。

高橋亮平さんに学ぶ若者参画社会のつくりかた

15年かけて「18歳選挙権」の願いをかなえた



2016年3月19日(土)

こども人権ネットちば総会関連学習会取材

●Rightsで大学生がつくった法案の骨子はよくできていたが、・・・

①選挙年齢を18歳にすること

被選挙権も引き下げ、地方選挙の選挙年齢は民法から切り離し地方独自で決めてもいい。

②政治教育を充実させること

この骨子はよくできていたので、Rights設立から3年目に議員を70人集め、S議員を中心に運動をしたが、そのまま動かさず時が経った。喫緊の課題でないものは政治課題になりにくかったわけだ。動き始めたのは2006年の、国民投票は18歳から、という法改正で、これは2010年に施行された。

有権者が増えると政局が変わるか？と言われるが、影響はそんなにないのではないかと予想する。しかし、初選挙は投票率が高いので、そのうち全体の投票率が上がるだろう。政治は「お金の再分配」と言われる。高齢者の声が政治に反映され易く、国民全体の声がフランスよく反映されていない結果生まれる「世代間格差」を①ジャストナウの再配分 ②つけが将来に回った時の格差、と時間軸を入れて考え、格差を減らさなければならぬ。むしろこれから若い人たちは、この格差が重要なキーになるのではないか。

●学校・地域・家庭でのシテイズンシップ教育が重要

親が選挙に行く家庭は子どもも選挙に行く確率が高い。ヨーロッパのような共同体への参加、リテラシーについての教科書があり、現場に政治家が向く、親と子の生涯学習、シテイズンシップ教育が大切だ。学校での政治活動について文科省も見解を出しているが、教育基本法第14条は「政治教育について」で、「教育上、尊重されなければならない」とある。用語解説もあるのを読んでみてほしい。

また、「子ども・若者政策」で、まちづくり、公園づくり等に子ども意見を入れて当事者を巻き込む方向性がいと思う。その場合、入り口の「あるべき論」からではなく、結局「具体的に何をしたいのか」をみんなで明確にし、政治家や行政職員が使う言葉も知り、出口を話していくのがよいのではないか。

政治は10代・20代の参画には寛容で、プライオリティがあがる。目指すのは市民自治なので、若者から創っていききたい。(文責：岡田)

講師：もりもと たすく 森本 扶 さん

埼玉大学・都留文科大学・法政大学・国士館大学非常勤講師、「子ども白書」編集長



寛容さを失う社会の中で 私たちにできることを考えてみよう

～子どもがつくるまちのとりくみから～

「森本さんが語る」
寛容さを失う社会を乗り越える視点

「寛容」とは積極的に多様な相手を尊重する意味合いが含まれ、民主主義の重要な概念に成長してきた。今、総じて「寛容さ」が失われ、厳罰意識が高い。学校では教師の多忙化が、生徒指導でゼロトレランス（非寛容）な指導となり、自己主張のすべを知らない子どもとの信頼関係はなくなる。子どものかかえている根本に目がいかない。

「寛容さを失う社会」を乗り越える一つの視点が「信頼のコミュニケーション」である。その構築のために①地域の気兼ねない「縁側」や、心と癒しの多様な空間づくりをめざす②お互い様を認識する参加型の一方的ではない人間関係づくり。さらにはこの二つをプロデュースする③人や集団の存在があることによって持続可能になると挙げた。

そこでの子どもも参画・文化を担う子どもNPOとして、現状と大人の関わりを森本さんと共に考えてみた。

千葉県内の「子ども参画、子どもがつくるまちのとりくみから」実践報告

佐倉子どもステーション

知らない子と遊ばない、意見が違う人を受け入れられない子どもなどの現状があった。子どものまちを実施してから地域住民から「知っている子どもの声はうるさくない」という声がでた。大人同士も仲間づくりができてきた。

ならしの子ども劇場

地域のお年寄りも参加している。大人が見守りに徹し、口を出さないでいると子どもの遊びがどんどん広がっていくのを実感している。子ども実行委員会に来る子が減少、つくり上げる時間の確保が難しい。

船橋子ども劇場

子どもたちは忙しい。子どもの意見は尊重しているが、全体的な流れは大人が考えてしまう。企画をやりきること子どもたちは信頼される心地良さを感じた。まだまだやりたいことがいっぱいあるようだ。

千葉中央おやこ劇場

千葉市からの提案で実行委員会に入っている。子どもの参画も進んだ。課題は子ども交流館に来られない子どもは体験する機会がないこと。こどものまち地域版が始まった。

市川子ども文化ステーション

2003年から実施、規模が大きくなり疲れた大人もいる。子どもを管理しすぎてきたかとの思いから大人の学校をつくった。児童館との共催もでき、いろいろな地域に広げ、変わっていくことを目指していきたい。子どもたちの居場所になっている。

緑区子どもサポートセンター

人口が増え、千人を超える学校でピリピリ、ギスギスしている地域。こどものまちをやりたかったのは、子どもが安心して自分の思いや意見を言い合える人間関係をつくりたかったから。コアスタッフは自分らしく居られる場になっている。

報告をもとにキーワードを探そう

★子どもたち自身のネットワークづくり

子ども自身が主導権をもって取り組み始めた現実がある。子どもたちが自身がSNSなどで広く呼び掛けている。プロデュースするのも子ども自身が始めている。

★大人の居場所にもなっているか

子どもと大人の信頼のコミュニケーションが問われるところでもあり、大人として自らの生活や人生を問うところでもある。大人の本気度を子どもは見ている。大人自身も見守っているだけでなく、市民として感じたまちづくりの課題を積極的に発信し政策へ生かしていこう。

★トライ&エラーができる地域づくり

地域の中で全体に目配りしながら、誘ったり、仕切ったり、厄介なことを受け止められるだけの大人の覚悟があるか。巻き込まれながら成長していくプロセスが重要で、大人も子どももトライ&エラーを重ねて成長できる地域づくりでありたい。さらにこれらの理念が、地域で共有されることが重要となる。

★自治体の支援、公助による共助づくり

国や自治体は、信頼のコミュニケーションを持続可能にいくために、気兼ねのない癒しの様々な空間づくりを推進し、支援していくことが望まれる。公助による共助づくりという関係をつくる。

最後に、この一連の取り組みの中で森本さんが提起された「信頼のコミュニケーションの中で地域の子ども文化を再生しよう！」という視点は、子ども劇場千葉県センターのミッションと重なります。本来子どもが持っている力を信じ、大人として覚悟をきめて向きあっていきましょう。

(文責 綿貫)

平成 27 年度文化庁からの委託事業を受けた子ども劇場千葉県センターは、県内 22 の市町 39 校にのべ 84 人の芸術家を派遣し、90 分間の授業を受けた子どもたちを夢中にさせ、時には夢のような時間を過ごし、忘れられない感動的な授業となった中からいくつかを紹介いたします。

■国語の時間に落語

いつもよく使う特別教室にあざやかな緋毛氈の高座が用意され、その前に子どもたちが座って落語家の登場を待つ。着物を着た落語家さんがあいさつと自己紹介をして落語のおはなしがはじまる。TV に登場するような大御所ではなく、30 代の若い落語家さんに「へー こんな人なんだ」と第一印象を持つ。アツという間に終わる短いものから、意味深なものまでの小唄に子どもたちの笑いが止まらなくなる。てぬぐいや扇子を小道具にみだてる使い方、登場人物を想像させる顔の向きなど、なるほどとうなずかせる。熱いおそばの食べ方を習うが、すすり音が上手に出せない。

実際に出囃子にのって緋毛氈の高座で所作や小唄を体験。そして落語家さんから「初天神」のお話しを聞く。話もおもしろいが、登場人物や大好物の団子をおいしそうに蜜をなめながら食べる仕草にも感心し、20 分ほどのお話しが短く感じる。落語や伝統文化のおもしろさや奥深さを、大笑いしながら学び、本物と出会う豊かな授業内容になった。

■音楽の時間にバレエ

2 月の寒い季節の体育館に、防寒着を着て授業のために集まってきた子どもたちや担任教師

国語の時間、音楽の時間、総合的な学習の時間が



県内 39 校で大変身！

とは対照的に、ダンサーはバレエのレッズンススタイル姿で登場。美しいクラシックバレエ式のあいさつで授業が始まると、会場はすっかりバレエの世界に。ダンサーから毎日のレッズンを見せてもらう。スポーツ系の「イチニ イチニ」のリズムの準備体操やストレッチとは雰囲気異なります。「イチニサン イチニサン」と、ターンやステップ、マイムと一緒に練習し、ステージに立ってみた。気恥ずかしさの心配は全く感じることなく、「できた！」「やれた！」「ほら、見て！」と満足そうな笑顔があちこちに見えた。そしてプロから衣装を着け音楽にのせた「コッペリア」をみせてもらう。「あんなふうにできないいな」というダンサーへのあこがれや、美しいものへの感動が、子どもたちの心を動かし、バレエが身近な存在になった

■総合的な学習の時間に表現あそび

90 分の授業はあそびの連続で、真剣にあそぶことや表現することがどんなに楽しいかを、体で感じる授業だった。導入は、「さんぽ」の曲にあわせて、子どもたちの言葉や発想をポーズで表現する遊びで、大きな笑い声が起こり最初から大盛り上がりとなる。二人組になって「あっちむいてホイ」の同類バージョン「とんとんぱ」は、最後の一人になるまで続き、教師も大人げなく夢中になつて参加。十人チームでの伝言ゲームは遊びながら「伝える」「受け取る」「わからない時はもう一回聞く」という基本的なことを学ぶ。三人チームでの「協力しないお絵かき」では、「言わない・聞かない・一筆描き」のルールで描くと、想像できないような絵になり、逆に協力する大切さを学んだ。勝ち負けではないこと、他と比較しないこと、認め合うこと等の心地よさがあって、真剣に遊ぶことが授業だなんて子どもたちには最高！

■教師にとつても学びに

子どもたちがだんだん前のめりになって、思わずやってみたくなり、授業の主体者になっていく。また、普段は積極性を見せない子どもや表情が硬い子どもが、一瞬のうちに殻から飛びだしていく姿をみて、教師自身が普段の授業の組み立て方や、子どもへのアプローチ、ひとりひとりの力の引き出し方などに気づきがあり、学ぶものが多かったという感想がありました。

■NPO のコーディネートが学校にとつて最高！

講師となる芸術家の情報から交渉、打ち合わせの他に、計画段階から終了時の書類作成は多忙な教師にとつて負担になります。これらすべてを NPO が担うことと、経費の学校負担なしでとりくめることは学校にとつて大変魅力的な事業です。とりくんだ学校からは、県内の隅々にプロの芸術家と子どもが出会うことで、豊かな授業になることの魅力をもっと広報し、たくさんの方がとりくめるようにとの期待が寄せられました。NPO のコーディネート力が問われ、更に高めていくことと、文化庁の事業に頼るだけでなく、千葉県独自の芸術家派遣の事業が、文化施策に加わっていくことを期待するものです。

39 校で実施した教科と内容

- 国語の授業
落語、狂言、表現
- 音楽の授業
バレエ 声楽、パーカッション、ミュージカル、フルート・ピアノ、和太鼓
- 総合学習の授業
クラウン&バルーン、パントマイム、パーカッション
- 体育の授業
パントマイム
- 図工・特別活動の授業
人形づくり 狂言 パーカッション

芸術家ならではの指導力に子どもたちの興味と関心が広がる！

授業として学校で実施 平成27年度「文化芸術による子供の育成事業」全39校が終了しました。



柏市 富勢東小学校 12月15日(火)

12人(4年)国語
芸術家：内野喜章
内容：落語についてのお話。落語の実演。落語の仕草、話し方をやってみよう

子どもたちが前のめりになって落語を聞き、笑い、ウケていた。そばを食べるしぐさに挑戦、苦戦していたが、想像力を広げて誰もがおいしそうに食べた。

- 「落語がこんなにおもしろいと思わなかった。」「めんをすする時の音がむずかしかった。」「今日で新しいネタが考えられた。私も扇子と手ぬぐいがほしい。」「今日の体けんで落語は好きになったからテレビなどでまた見てみたい。」「はずかしがらないようにして、もっとおわらいをうまくしたい。」

千葉市千城台西小学校 1月28日(木)

24人(4年)体育
芸術家：チカパン
内容：パントマイムを見る。おなじみのパントマイムにチャレンジ。グループごとに作品作り。お互いに発表。

「パントマイムに正解はない」やる気モードにどんどん変化していった。チカパンの手から生まれた1匹の蝶。全員で一点を見つめるなか、一人ずつの見事なリレーでひらひら飛んでいった。

- 「見えないことを想像するのが楽しかった。家の人にもおしえてあげたい。」「すごく自分もみんなももり上がった。」「今までやったことのないことを見たり、やったり本当にうれしかった。」

香取市 小見川南小学校 2月22日(月)

59人(1～6年)特別活動(創立記念日)
芸術家：大蔵教義 宮本昇 上田圭輔
内容：狂言の説明「柿山伏」の実演 登場人物クイズ 衣装体験「太郎冠者・伊茶」に変身 「発声 おじぎ 構え」体験

体をゆすって笑う所作に挑戦して笑顔がいっぱい。太郎冠者の衣装を着て、照れながら「以外に重いよ!」。キノコやカラス、とびの演技にみんな大笑い。構えの立ち姿、膝をちょっと曲げて、「チョーきつつ!」

- 「笑い方や泣き方は気持ちがこもり、むずかしくて、たのしかった。」「衣装を着るとあつくて重かった。」「狂言の先生の声が大きくてすごかった。自分も声を大きくしたい。」

成田市 公津小学校 2月15日(火)

44人(5～6年)音楽
芸術家：藤森裕美 大塚庸介 田中亜美
内容：3グループに分け「手のひらを太陽に」を題材にしてミュージカルを作る。発表

いろいろな生き物になるゲームが楽しそう。自分たちで劇やダンスのふりつけをいろいろ考えて、1つの作品に仕上げてワクワク!みんな堂々と発表した。ミュージカルは見てもやっても楽しい。

- 「ミュージカルでお子様ランチとか花だんとか表現できるなんてすごい。」「ダンスが好きになった。」「自分で脚本を考えたから楽しかった。」「ダンスが好きになった。」「少し自信が持てた。」

千葉市 弥生小学校 2月3日(水)

41人(3・4年)音楽
芸術家：西澤美華子 河野麻子 濱本泰然
内容：バレエってなあに?ストレッチやステップ、マイムをやってみる。本物のバレエを見て、みんなで楽しく踊ろう。

ダンサーの体の柔らかさにびっくりし、一緒に体を動かし踊った。バレエの表現のマイムで「あなたは美しいですね」「愛しています。ぼくとっこんでください!」「いやです!」をやりあって数日あそんでいた。

- 「きょう一日が明るくなった。バレエのことがいっぱい知れた。」「女の子の衣装がとってもかわいくて着たいと思った!男の子は力がないと大変だなと思った。」

八千代市 八千代中学校 2月24日(月)

19人(1～3年特別支援学級)総合的な学習
芸術家：BBモフラン ダウディ 典子
内容：アフリカの話 アフリカの打楽器とキーボード演奏と唄 みんなで叩こう

初めて見るアフリカの太鼓に「動物の毛がついてるよ」とビックリの声。アフリカのダンスでは恥ぢずかしそうにもぞもぞ気味の踊りが太鼓のリズムに心が動き自由に体が動いてきて、表情が明るく実に楽しそう。

- 「楽器に触れた時からすごく大きな音がしたのでびっくりした。リズムにのって音楽を楽しむことが一番楽しかった。」「モフランさんとさよならする時、さみしくなって心が細くなった。」

佐倉市 山王小学校 12月18日(金)

39人(5～6年)国語
芸術家：大蔵教義 宮本昇
内容：狂言についてのお話し。狂言の上演「柿山伏」。登場人物クイズ。体験(発生・構え・摺り足)。装束の試着。質疑応答

狂言の歴史に驚き、感心していた。登場人物クイズに大盛り上がり。装束の試着に照れながらも誇らしげな表情。「狂言師になるのに、笑いたくなくなった時はどうするの?」等たくさんの質問せめだった。

- 「大蔵教義さんと宮本昇さんがすごく大きな声を出して、大きな声で笑ってすごいなと思った。」「ぼくは100万円近くの着物を着られてうれしかった。着物が気持ちよかったです。」

長南町 豊栄小学校 2月5日(金)

61人(1～6年)特別活動(東京行ハレ)
芸術家：西澤美華子 河野麻子 濱本泰然
内容：ストレッチ ステップ 2人でジェスチャー「コッペリア」から観る踊る

バレエは三拍子、姿勢よくリズムで動くとうフフ…、左右にステップ、くるくる、アラベスクにポーズ!気分はすっかりバレリーナだ。「できた、できた」「ほら、みて!」満足の笑顔。「女性を肩に乗せるのに筋トレするの?」質問も尽きなかった。

- 「練習のあと、音楽にのせるのがとても楽しかった。」「つま先で立ってくるくる回るのがむずかしい。」「バレエ団の人は、小さいころから練習してできるようになったので、ぼくもむちゅうなものをさがしたい。」

いすみ市 浪花小学校 3月4日(金)

63人(1～6年)特別活動
芸術家：BBモフラン ダウディ 典子
内容：パーカッションとピアノ演奏とダンス リズムとパーカッション体験

躍動的なアフリカのリズムの魅力に引き込まれ、ダンスはほとんどの子どもが自分からステージに上がって踊り、盛り上がった。「ト・ン・カ・ツ・た・べ・る」のリズムで太鼓を打って、ずっとロザさんでいた。

- 「たいこで私は「キャ・ベ・ツ」のリズムでやって楽しかった。」「太こがたたけてうれしかった。また、みんなでダンスをしたい。」「想像とちがって色々なおもしろい音が出ておもしろかった。」

成田市 川上小学校 12月18日(金)

47人(5～6年)音楽
芸術家：歌子さん 古川一 上村純
内容：コーラスを楽しむワークショップ 「こころのなかにきらめいて」をコーラスの楽しさを感じながら皆で歌う。

パートに分かれて全然違う言葉や音を重ね合わせいくと、あら不思議、歌の世界がひろがった。ハッピーな気持ちになれた!!卒業式の時に歌う歌をワークショップでチャレンジする歌とした。

- 「音と音をかさねるときれいだなと思った。」「歌がいつもよりきもちよくうたえた。」「歌詞の一言一言の表現がむずかしかったけど最後は楽しく歌えた。」「いろいろな楽器の音があって楽しかった。」

柏市 田中北小学校 2月12日(金)

17人(4年)音楽
芸術家：太田雅人
内容：若者による太鼓の演奏 太鼓の音でゲーム 和太鼓をみんなで叩こう

太鼓の音で座ったり動いたりゲームで心も体も解放され、小太鼓の合図でさっと集まり、やる気満々。どんどんリズムの打ち方が高度になって、1時間もすると音が揃って見えた姿になり、まわし打ちもやった。全校生徒の前で発表が最後の目標。

- 「いきおいよく、すごくかっこよく見えた。やさしくてすごくわかりやすかった。」「音が予想よりはるかに大きかった。」「やってみたら楽しかった。毎日やりたいくらいだった。」

山武市 豊岡小学校 3月4日(金)

47人(1～6年)その他(表現活動)
芸術家：北島尚志 北崎圭太 大雅賀代
内容：表現遊びシアター運動会・共戯種目「一文字変化・一筆書き・人間写真」

会場は笑い声がいっぱい。講師の一言にすぐ声をだして反応、元気な3年生。きびだんご役に手をあげた男子が桃太郎の腰にぶらさがる演技を自分で考えて披露し、拍手喝采!6年生の人間写真は「遊園地」。躍動感あふれる一枚ができあがった。

- 「終わったあとわくわくかんが残った。」「みんなで作ると、とてもにぎやかで楽しかった」「表現することが楽しくなった。もっとやりたいと思った」「人間写真と一筆書きをしたのが一番たのしかった。」

市原市 養老小学校 1月14日(木)

116人(3～6年)総合的な学習
芸術家：大淵弘幸(劇団風の子)
内容：「おもしろい座り方」「おおまくんさんぼう♪」「トントンパツ」「かくれんぼ」「伝言ゲーム」「協力しないお絵かき」

大淵さんを「トントンパツ」で勝ち抜いた普段おとなしい男子の「ウィッシュ!」ポーズに場内驚き、その後も「やって!」言われて教室でキメているそうだ。三人で協力しないで描いた絵、タイトルをつけて黒板に張り展覧会、見てまわって盛り上がった。

- 「最初は緊張したけど、楽しくて笑いがとまらなかった。今度は自分たちで遊びを考えてみたい。」「おおまくんがおもしろかった。友達になりたい。」「遊んで気持ちがうごいた。」

千葉市仁戸名小学校 2月15日(月)

56人(2～5年)音楽
芸術家：BBモフラン ダウディ 典子
内容：アフリカの音楽、楽器の紹介。アフリカと日本のことば。リズムに乗り、パーカッションとダンスをやってみよう。

生のアフリカの音楽に子どもたちは驚きつつ段々リラックスしていった。いろいろなリズムを手で、楽器で、からだで表現し夢中になった。アンコールがずっと続いた。

- 「すごく楽しくて毎日ダンスをおどりたいと思った。たいこをもっとたきたいし、リズムがとてもよかった。」「打楽器をたたいたりおどったり、手びょうしをして楽しかった。」「牛ややぎのかわでだ楽器をつくっているとは思わなかった。」

匝瑳市 匝瑳小学校 3月4日(金)

27人(1～6年)音楽
芸術家：歌子 古川一 上村純
内容：リズムあそび・「花嫁の行進」合唱 ボディパーカッション「WAになっておどろう」・ミニコンサート発表・楽器体験

ギターやアフリカンパーカッションと一緒に歌った。自由な振付に苦労したが、最後はみんなでボディパーカッションも加え「WAになっておどろう」が完成。肩をくむ振付に「えー、こいつか?」高学年男子は照れながら…。大きな声と笑顔がはじけた。

- 「WAになっておどろうをだんだん変えていって、新しいものにしていくのが楽しかった。また、やりたい」「いろいろな楽器をさわってみたりできて、うれしかった。きれいな歌声とメロディーがきけてうれしかった。」

船橋市 金杉台小学校 1月21日(水)

122人(4～6年)音楽
芸術家：BBモフラン ダウディ 典子
内容：演奏とアフリカや楽器の説明 全員でダンスと歌。パーカッションをたく全員参加型のワーク

スタートから子どもたちの歓声上がり、ジャンベの音に体が跳ね、手拍子をし「ヒュー!」と声を出して手を高く上げ、ノリノリで前に横に後ろにと踊った。芸術家の人柄に触れ、打楽器、歌、ダンス、ピアノと、その迫力に驚き、圧倒されている様子。子どもの興味・関心・満足度は99%。

- 「すごい力は力で、すごく楽しかった、またやりたい。」「すごく楽しくて アフリカのパーカッションをもっとしりたくなった。」

船橋市 豊富小学校 2月17日(水)

123人(1～3年)国語・体育
芸術家：大淵弘幸(劇団風の子)
内容：表現あそび「おもしろい座り方」「さんぼう♪」「OOをしよう!うん、そうしよう!」「なりきりかくれんぼ」

寒い日の体育座りは「サンドイッチギュー!」あぐらは「あぶらあげジュ!」リズムで体が動き、5分もたたないうちに体がほぐれ、歓声があがった。最後の「なりきりかくれんぼ」はグループで相談。花火、お地蔵さん、自由の女神など「おおまくん見て見て!」アピール合戦。

- 「おおまくんがいろいろなことを教えてくれてうれしかった。」「家でも教室でもやりたくなった。また授業にきてほしい。」

白井市 白井第二小学校 3月7日(月)

36人(5～6年)国語
芸術家：大蔵教義 宮本昇 上田圭輔
内容：狂言の解説、「柿山伏上演、登場人物クイズ、構え・すり足・発生 装束着付け

伝統芸能の映像を観、図書館から「柿山伏」を借りて勉強し楽しみに待っていた狂言。「信長、秀吉を知ってる?」「は〜い!」「そんな昔の人も観たんだよ」「すご〜い!」と驚き笑い、真剣に狂言の世界に入っていた。

- 「鳴き方、食べ方、笑い方に約束があるのにびっくり」「動きや言葉を覚えて柿山伏を全部やってみたい」「すり足に10年かかるなんて耳をうたがった。実際やってみたらむずかしかった」「狂言の衣装はキレイでいいな〜」「好きなことがひとつふえた。」

情報あれこれ報告

◆ママパパライン全国キャンペーン開催◆

『ちいき新聞』ではママパパラインのことを「心の薬箱」と表現していました。必要な情報を必要な人に届けたという気持ちで広報周知をがんばりました。

気持ちが楽になりました！

どなたもよく聴いて
くださりありがとうございます

きいてもらって整
理ができました！

日時：2016年2月15日（月）～2月20日（土）の6日間

開設地：全国9か所のママパパライン（北海道/岩手/仙台/福島/千葉/東京川の手/愛知/和歌山/兵庫）

ママパパラインちばの件数：母親や祖母から23件 9か所の合計件数：67件 平均通話時間：33分

広報周知：facebook、54市町村への行政訪問や千葉県小児科医会や千葉県歯科医師会のポスター掲示、保育園協会 幼稚園協会 小学校へのカード配布、新聞等マスコミ掲載もできました。特に今年は地域情報誌6誌に掲載され多くの方に広報できました。（実績 カード配布95,242枚 ポスター4,051枚）



◆チャイルドライン千葉・ママパパラインちばを応援するチャリティ公演開催◆

この公演は、子どもたちが安心して暮らせる環境づくりや、孤立した不安な子育て環境を改善し、いじめや子どもへの虐待等がおきない・おこさない安心できる千葉県となるために開設している「チャイルドライン千葉・ママパパラインちば」を応援するチャリティとして実施しました。

作品：人形劇団夢知遊座（名古屋） 「恋か金銭か吝嗇親父奮戦記」

日時：2016年3月18日（金）19時開演 船橋市民文化創造館きららホール

参加者：212人



ロビーでは、2つの傾聴電話の展示と説明、手作りのお菓子や手芸品を販売しこれももう一つのお楽しみ。応援者からは、「今の世の中に本当に必要な重要な存在です。皆様のご苦勞とご努力を応援します」「とても素敵な活動だと思います。これからも頑張ってください。」「貴重な活動、感謝しています。」などのメッセージをいただきました。

◆チャイルドライン千葉受け手研修会 講演会「チャイルドラインの子ども観」◆

3月11日（金）13時～16時 船橋市中央公民館 参加者 55名 講師 林大介さん（東洋大学社会学部助教）

1枚の子どもの写真から連想したこと、そして昔の子ども、今の子どもについてそれぞれの子ども像を出しあい、子どもの権利をすすめるための考え方を学習しました。子どもが安心して生きていける社会のためチャイルドラインは必要な存在であり、受け手ボランティアとして活動することの社会的意味を改めて認識する研修となりました。

◆オンライン相談トライアルを実施◆ 実施日：3月24日（木）～30日（水） 16時～21時

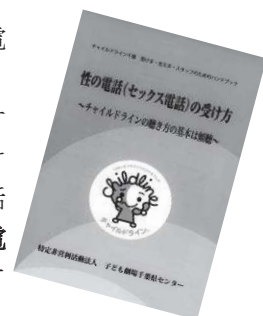
SNSなどのインターネットによるコミュニケーションは子どもたちの生活に深く浸透してきており、チャイルドラインにもオンラインでの相談を求める声も多く届いています。チャイルドライン支援センターではチャットによるオンライン相談を実施し200件余りの声に対応しました。千葉からも3名の受け手がトライアルに参加しました。

◆受け手・支え手・スタッフのためのハンドブック『性の電話（セックス電話）の受け方』を発行◆

チャイルドライン千葉は子どもの声を聴き続けて17年。開設当初より、「性」に関する電話は多くありました。思春期まっただ中にある子どもたちにとって心身の成長や変化に伴う不安、苛立ちや性自認の不一致、恋愛についての悩みを安心して話せる場にもなっていますが、雑誌等の興味本位の性情報に振り回されている姿も見えます。「性」をめぐる話は、受け手ボランティアにとっても価値観や聴く姿勢が問われます。専門家による学習会や性の電話に特化した研修を重ねた中で蓄積してきた資料や気づきをまとめた『性の電話（セックス電話）の受け方』～チャイルドラインの聴き方の基本は傾聴～をこの度、ハンドブックとして作成しました。この冊子は受け手ボランティアの研修のテキストとして活用していきます。

また、電話相談や傾聴に携わる方々にも参考にさせていただきたいと考えています。ご希望の方は子ども劇場千葉県センターまでお問い合わせ下さい。

この冊子は大和証券福祉財団平成27年度ボランティア活動助成により作成しました。





社会や未来を本当に変える仕組みを今創らなければ間に合わない

高橋 亮平（中央大学特任准教授・NPO 法人 Rights 代表理事）

大学生だった 2000 年に NPO 法人 Rights を立ち上げ、選挙権年齢引き下げと政治教育の充実を柱に若者の政治参加を求めて活動してきました。

当時は「大学生が法律なんて変えられるわけがない」などと言われたりもしました。15 年かかってしまいましたが、2015 年 6 月に公職選挙法が改正され、2016 年 7 月の参院選からはよいよ 18 歳から投票できることになります。

婦人参政権とともに選挙権年齢が 20 歳に引き下げられて以来 70 年ぶりの選挙権拡大であり、この国の民主主義や参画を大きく進めるキッカケとしてももちろんですが、同時に、政治家や行政職員という立場ではなく、当事者である若者自身が求め、訴え、働きかけ、実際に制度を変えることにまで結びつけたということにも大きな意味があると思っています。

私にとって、高校時代に県内の国府台高等学校で生徒会長を務め、県内 30 数校の生徒会連盟を設立し、当時批准されたばかりのこどもの権利条約を背景に生徒の権利や自治を求めて活動を始めたのが、原点の 1 つです。

その後の NPO 活動もちろん、26 歳で最年少の市川市議になり、超党派 400 人による全国若手市議会議員の会会長を務めたことも、34 歳で松戸市政担当官・審議監として全国最年少部長職になったことも、現在、大学の教員としての活動や自治体コンサルとしての活動、各地での講演なども、すべて社会をどうすればよくできるかということを考え、効果の高い手法を使いながらその実現を目指しています。

PPP (public private partnership) や新しい公共などと言われ、これまで行政や政治に依存してきたものも、時代とともにそこに求められる社会の担い手も変わりつつあります。

こうした中で、その新たな担い手とその仕組みを創ることもまた求められているのではないかと考え、日々、行動しています。

社会や未来を本当に変える仕組みを今創らなければ間に合わないのではないのでしょうか。

ぼくはなんでできているんだろう

大潤 弘幸（劇団風の子）

私からのメッセージ



神沢利子さんの「くまの子ウーフ」という作品の中に「ぼくはなんでできているんだろう？」とウーフが自問するシーンがあります。この問いはとても面白い発想だと思い、早速、劇団風の子研究所（私はこの研究所で講師をやっています）で研究生に問いかけてみました。研究生の答えはさまざま、これまた、面白い。「僕は音楽でできている」「私は友だちと家族でできている」「僕のほとんどは食べ物でできている」などなど。

では、私はなんでできているんだろうと自分に問いかけてみました。私の答えは「私は 10 代で出会ったものでできている」

誤解を恐れなくて言えばわたしの価値観は 10 代に出会ったものでできている。さまざまな年代で出会ったものはいくらありますが、それらを計る基準が 10 代で出会ったものという意味合いです。10 代の終わりに忌野清志郎、ボブ・マリー、キャンディーズ、寺山修司、山田太一、黒澤明、ジョン・フォードなどに会い、多くの影響を受けました。

でも、それ以上に、私は育った環境の中で出会ったものに影響されました。友だちと雪どけの山に入って見つけた福寿草、真冬に友だちと神社の階段脇の側溝にジャンプ台を作ってそりでジャンプ、友だちと学校帰りに見つけた雨で膨らみきった子どもが読んではいけない本。私が育った街には、「遊べる場所」「遊びを共有できる仲間」「日が沈んだら帰ってきなさい」と呼ばれる声がありました。

今の子どもたちにもっとも足りないといわれている「空間」「仲間」「時間」のことです。大人になった今、子どものための劇団にいるということは、当然、「お金」はありません。でも、面白そうなことを分かち合える「仲間」はいます。「時間」はなくなってきましたが、強引に作り出すことは学習しました（睡眠時間が減る）「空間」は、どこだって、その気になれば、場所になります。

私は昨年の 12 月、今年の 1・2 月に文化庁の芸術家派遣事業で市原市と船橋市の小学校でコミュニケーション力、表現力を高めるワークショップを行いました。ワークショップと言っても難しいことは何もやりません。単純に遊べます。知っている遊びもやれば、知らない遊びもやります。遊ぶという中には相手に伝える、相手からもらうということが、いっぱい入っています。私は子どもたちの遊んでいる様子を見ている時に、ここには「時間」「空間」「仲間」あると感じました。確かにこの「三間」は昔に比べたら減っているかもしれませんが、それでも遊ぶ心を持った子どもたちは、昔も今も変わらないと思いました。

変わったのは、大人なのかもしれません。大人が子どもたちと向き合う時、さまざまなことが問われます。どうやって子どもたちと向き合っていくのか、どうやって生きていくのか、なにができるのか、なにができないのか感じて、考えて進んでいかなくてはと思いました。

「市民ネットワーク千葉県元気ファンド」助成で夢がかなった! (特) こどもユニット Wakaba

「どうしよう! このままでは
子育てひろばがなくなりそー!」

親子で集う子育てひろばを開設して13年が経つ。都賀駅から徒歩5分の場所に9年ほど居たが、諸事情で小倉台に引っ越すことになり、そこは4年ほど借りていた。ここもまた事情で引っ越しせざるをえなくなった。また、こどもユニット Wakaba を維持していくだけの経済的な体力もがなくなりかけていた。

しかし、子どもの体験活動の大事さ、子育て支援のひろば事業の必要性は理事全員が感じていたので、なんとか継続していくために知恵を出し合う会議が続いた。

そんな中で浮かんだのは、「理事所有の土地を利用しての子どもの体験活動事業は NPO 設立以来実施してきたので、なんとかその場所に自力で事務所を建てられないだろうか」というアイデアだった。早速建築のための見積書を取り寄せたのだが、あまりの高額な金額に諦めるしかなかった。

どうしても捨てきれなかった夢に道が開けそう!

どうしても夢は捨てきれず、今は空き家になっている資材が詰め込まれた大工さんの資材小屋がなんとかならないかと土地所有者の理事に交渉したところ、「資材を処分してリフォームすれば、使っていい」と快諾をもらったのだ。

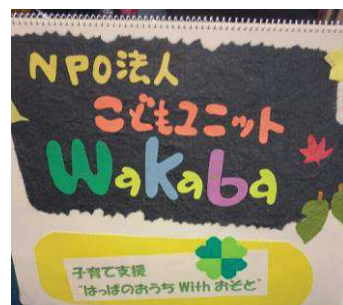
事務所兼子どもや親子の居場所にふさわしい空間作りに理事たちはイメージを膨らませた。限られたスペースを居心地の良い、安全、安心な部屋にするためのアイデアを出し合った。リフォームは理事のご主人がやってくれる。健康志向のご主人が作った部屋は、親子が安心して過ごせる空間になるはずだ。建物だけでなく、そこには畑や竹藪が広がる空地があり、思い切り遊べる空間だ。これからここでどんな遊びが展開していくのかと今から楽しみにしている。



私設プレイパーク付き子育てひろばであそぶ親子たち。奥に見える建物はリフォーム中の資材小屋

ファンドのプレゼンはアナログでがんばる!

引っ越しすることに決まった時期に、市民ネットワーク千葉県元気ファンドからお誘いがあり、締切ギリギリに思い切って申請した。自信はなかったが書類選考の結果、ヒヤリングとなる。現地でのヒヤリングに担当者の方は驚かれたようだが、むしろ現場がわかり理解してもらうことができた。公開プレゼンでは、パワーポイントなど理事の誰も使いこなせず、目で見て分かってもらえることが大事だと、写真を使ってスケッチブックに Wakaba の活動をコラージュした。



プレゼン用にスケッチブックにコラージュした力作

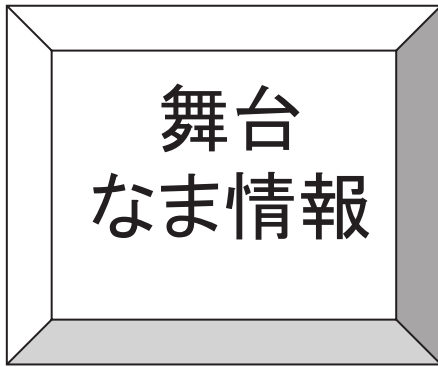
今までは部屋での遊びに子どもたちが飽きると、近くの公園に出かけていた。外で思い切り遊ぶ子どもはいきいきとして顔も明るい。そんな子どもたちを見ていて、やっぱり外遊びは大事と強く思うようになっていた。その思いを込めて、「おそとはっば」実現に向けて、「お花見はっば」や「水遊びはっば」を実施し、野外では遊びがどんどん広がり、気持ちも開放されることを強調した。

Wakaba のプレゼンは6団体のうち5番目。4団体ともやはりパワポを使って、説得力のあるアピールをしている。スケッチブックでのアピールは弱いかなと思いき、『私たちはパワポが使えないので、アナログでやらせてもらいます。』と書いてスケッチブックの表紙をめくり、1枚目を見せると会場から『ウォー!!!』と感嘆?の声が漏れてくる。これは手ごたえあり?と緊張がほぐれる。6団体のアピールが終わったのち、審査結果が発表され、3団体を選考された。なんと2番目に Wakaba が選ばれる。

スタート! はっばのおうち with おそと

実は昨年11月からはっばのおうちは休業状態で、ママたちから催促の声が届いている。3月末にはいよいよオープンだ。桜が咲く空地に子どもたちの声が響くことだろう。理事一同はワクワクしながらも、しっかりやらなければと緊張もしている。 斉藤まり子 記

編集後記 ピカピカのランドセルで通学する新1年生の子どもたちに出会うと、思わず声をかけてみたくなる。「楽しそうだね」「学校どう?」「そのランドセルかわいいね」…。スクールガードの方たちはさりげなく声をかけ、また大きな声であいさつしながら横断歩道を渡る。地域の大人に温かく見守られ、おおきくおおきくなあれ!!!



- 県内の子ども劇場の鑑賞会で観たい作品がありましたら直接その団体にお問い合わせください。
- 下見等については千葉県内の申し合わせ
 - ・ 役員の下見は5名まで無料
 - ・ その子どもは1人1,000円
 - ・ その他は1人2,000円
(子ども、おとな同額)

第80号別冊 <2016年5月～7月>

人形劇・影絵劇

団体名	作品名	日程	開演時間	場所	主催団体	観客対象
☆ 人形劇団クラルテ	おーいペンギンさん	5/8	11:30	行徳公民館レクホール	市川行徳	幼児～大人
☆ 人形芝居ひつじのカンパニー	ぼくピンチなんです！	5/8	14:00	勝田台文化センター	八千代	幼児・低学年
☆ 人形劇団ひぼぼたあむ	ハリネズミと雪の花	6/11	未定	富里市北部コミュニティセンター(予定)	成田	4才～小3
☆ 人形劇団どむならん	龍 / 併演 てぬぐいで遊ぼう！	6/25	13:00	浦安市民プラザ101大ホール	浦安	4才～大人
☆ 人形芝居ひつじのカンパニー	あなたがうまれるまで	6/25	15:00	志津コミュニティセンターホール	佐倉	幼児～大人
☆ 人形劇団ココン	カボとピノ	7/9	13:00	新習志野公民館	ならしの	幼児～小学生
☆ 人形劇団ひぼぼたあむ	かえるくん・かえるくん	7/16	未定	流山市生涯学習センター	流山	乳幼児～大人

音楽

団体名	作品名	日程	開演時間	場所	主催団体	観客対象
♪ X-jam(えつくすじゃむ)	シモシュとあそぼ！音であそぼ！	5/7	14:00	志津コミュニティセンター大会議室	佐倉	幼児親子
♪ 新垣隆 みやまさとファルコン	音楽の夕べ	5/28	19:00	千葉市美浜文化ホールメインホール	千葉西	小学生～大人
♪ 表現教育研究所	うたとおはなしのじかん	7/7	10:30	八千代市市民会館リハーサル室	八千代	0～3才児親子

芸能・他

団体名	作品名	日程	開演時間	場所	主催団体	観客対象
◎ 斎藤組	今みて新しいサイレント映画ライブ	5/29	18:30	市川市文化会館小ホール	市川北	小学生～大人
◎ スタジオエッグス	ダメじゃん小出ソロライブ	6/26	18:30	千葉県教育会館大ホール	千葉北	高学年
◎ どん亀座	キマグレ・サーカス	6/26	14:30	袖ヶ浦市民会館大ホール	袖ヶ浦	乳幼児～大人
◎ おおまる企画	ヘルシー松田パントマイムソロライブ	7/3	17:00	四街道公民館	四街道	幼児～大人
◎ アフタフ・バーバン	ゆかいなおかしなシアター うん・どうかい	7/9	18:00	船橋市内公民館	船橋	幼児～大人
◎ クラウンファミリー・プレジャー-E	ぼこぼこことつぶのほのぼの劇場	7/10	13:30	行徳公民館レクホール	市川行徳	幼児～大人
◎ マーガレット一家	たっちゃん紙芝居ライブ	7/18	11:30	市川市文化会館ローズルーム	市川中央	幼児～大人

きらきらわくわく情報

2016年5月～7月

活動	日程	場所	主催団体	
▪ みんなで楽しいデイキャンプ	5/5	千葉市昭和の森	緑区	いろいろ体験活動
▪ 5月あそびの会 いも苗植え	5/8	千葉市100万本こもれびの里	千葉北	
▪ 放課後子ども教室 休日体験 ハイキング	5/8	四街道市たろやまの里 小名木川	四街道	
▪ 放課後子ども教室 出会い・体験・夢ひろば	5/11.13.18.20.25.27	四街道市四区集会所	四街道	
▪ ダンボールであそぼ	5/15	印西市アルカサール	いんざい	
▪ 月例自然遊び体験 デイキャンプ	5/15	千葉市山崎さんちの空き地	Wakaba	
▪ 親子キャンプ	5/21～22	印西市内栗林	いんざい	
▪ 放課後子ども教室 出会い・体験・夢ひろば	6/1.3.8.10.15.17.22.24.29	四街道市四区集会所	四街道	
▪ 手ぬぐいをつくろう	6/12	浦安市内公民館	浦安	
▪ 月例自然遊び体験 弓矢作り	6/12	千葉市山崎さんちの空き地	Wakaba	
▪ 世界で一つだけの手作りおもちゃ	6/12	千葉市菅田公民館	緑区	
▪ あそびっく ダンボールあそび	6/15	白井市清水口小学校体育館(予定)	白井	
▪ ピザがまの森でカレーライス&基地づくり	6/15	印西市内栗林	いんざい	
▪ 放課後子ども教室 出会い・体験・夢ひろば	7/1.6.8.13.15.20.22	四街道市四区集会所	四街道	
▪ つくってあそぼう クラフト飛行機	7/2	野田市立柳沢小学校体育館	野田	
▪ うたとおはなしのじかん	7/7	八千代市市民会館	八千代	
▪ きもだめし	7/17	佐倉市上座総合公園	佐倉	
▪ 親子キャンプ2016	7/17～18	君津亀山少年自然の家	八千代	
▪ デイキャンプ	7/18	行徳駅前公園	市川行徳	
▪ ソーラン踊って七夕まつりに出よう	7/23.30	野田市立北部小学校体育館	野田	
▪ 幕張の浜 砂の造形	7/23	千葉市幕張の浜	ならしの	
▪ 月例自然遊び体験 流しそうめん・水鉄砲	7/23	千葉市山崎さんちの空き地	Wakaba	
▪ おやこキャンプ	7/30～31	市原市奥養老バンガロー村	千葉北	
▪ 子ども縁日 店長会議	7月上旬	印西市内公民館	いんざい	
▪ 流しそうめん	7月上旬	印西市内栗林	いんざい	
▪ 子ども縁日	7月下旬	印西市アルカサール	いんざい	
▪ 永野むつみさん講演会 思春期編	6/19	流山市内公民館(予定)	流山	講演会・学習会 ワークショップ
▪ 永野むつみさん講演会 幼児期編	6/28	流山市生涯学習センター	流山	
▪ 亀ちゃんのピエロ・ワークショップ	6/26	袖ヶ浦市民会館	袖ヶ浦	
▪ 子どもキャンプ説明会	5/29	流山市中央公民館講義室	流山	高学年の活動
▪ 子どもキャンプ全体会	6/12	流山市中央公民館	流山	

乳幼児の活動

活動	日程	場所	主催団体
▪ おしゃべりほっとスペース きらきらひろば	5/6.20.6/3.17.7/1.15	市川市信篤公民館	市川中央
▪ リラックスココヨガ	5/6.20.6/10.24.7/1.15	市川市曾谷公民館	市川北
▪ おやこサークル わくわくキッズ	5/10.24.6/14	市川市勤労福祉センター	市川中央
▪ 幼児サークル クレヨンクラブ火曜日	5/10.24.6/7.21.7/5	行徳駅前公園研修室	市川行徳
▪ 青空保育 どんぐりクラブ	5/10.24.6/7.28.7/5.12	白井市七次第一公園他	白井
▪ 0～3才児親子の居場所ぴよんぴよんクラブ	5/11.25.6/1.22.7/13	八千代市ふれあいプラザ	八千代
▪ 乳幼児とお母さんのための遊びの場 ぴっぴ	5/11.28.6/15.25.7/2.13	主に袖ヶ浦市神納コミュニティセンター	袖ヶ浦
▪ おやこサークル ぴよんぴよんキッズ	5/12.26.6/9	市川市信篤公民館	市川中央
▪ おしゃべりほっとスペース ぴよぴよひろば	5/12.26.6/9.23.7/14.28	市川市鬼越鬼高地ふれあい館	市川中央
▪ 幼児サークル クレヨンクラブ木曜日	5/12.26.6/9.23.7/7	市川市行徳公民館	市川行徳
▪ 親子ふれあい体験あそび アクティブキッズ	5/12.26.6/9.30.7/14	千葉市小中台地域福祉交流館	千葉北
▪ 乳幼児と親のワークショップ リズム体操	5/12.19	千葉市文化センター第2リハーサル室	千葉中央
▪ おやこサークル わいわいキッズ	5/13.27.6/10	市川駅南公民館	市川中央
▪ 親子クラブプレンジ	5/13.27.6/3.17.7/1.8	市川市曾谷公民館	市川北
▪ 乳幼児とお母さんのたまり場 たまごキッズ	5/13.20.27	四街道市四区集会所	四街道
▪ おしゃべりほっとスペース こーひーかつぶ	5/16.6/6	市川市菅野公民館	市川北
▪ 乳幼児親子サークルのびのびキッズ親子クッキング	5/17	成田市中央公民館(予定)	成田
▪ 0.1.2.3才のためのおやこの広場 るーぷる	5/18.6/1.15.7/6.20	松戸市柿の木台公園体育館	まつど
▪ 乳幼児とお母さんのほっとスペース はっぴいスペース	5/19.6/2.16.7/7.21	千葉市小中台地域福祉交流館	千葉北
▪ 乳幼児とお母さんのための居場所 ほわりん	5/19.6/16.28.7/12	袖ヶ浦市代宿児童館	袖ヶ浦
▪ 幼児サークル ぶらんこ	5/20	流山市中央公民館講義室	流山
▪ 乳幼児親子サークルのびのびキッズ'自然たんけん	5/24	成田市江弁須区民館(予定)	成田
▪ 乳幼児親子の体験・交流の場 ままん べいび ピアノと歌のコンサート	5/31	袖ヶ浦市神納コミュニティセンター	袖ヶ浦
▪ 乳幼児と親のワークショップ リズム体操	6/2.16.7/7.21	千葉市子ども交流館さぼーる多目的室	千葉中央
▪ 乳幼児とお母さんのたまり場 たまごキッズ	6/3.10.17.24	四街道市四区集会所	四街道
▪ 乳幼児親子サークルのびのびキッズ'新聞紙あそび	6/17	成田市保健福祉館(予定)	成田
▪ 幼児親子体験広場はびはびクラブかたつむりハン作り	6/19	習志野市谷津公民館	ならしの
▪ 乳幼児とお母さんのたまり場 たまごキッズ	7/1.8.15	四街道市四区集会所	四街道
▪ 乳幼児親子サークルのびのびキッズ'流しそうめん	7/22	成田市江弁須区民館(予定)	成田
▪ 子育て広場 はっばのおうち	毎週火・木	こどもユニットWakaba事務所	Wakaba
▪ ママたちのエアロビクラブ シェイク	月2回月曜	市川市曾谷公民館	市川北
▪ 幼児サークル	5.6.7月	印西市内集会所	いんざい

子どもと文化 イベント情報

- ◆ **ダンボールであそぼ!**
毎年恒例のダンボールあそび。
いつもはトンネル作りですが、
今年は基地づくり、ダンボールで
ロボットに変身など検討中です。
5月15日(日)午後
場所：印西市アルカサル
対象：子ども
参加費：100円(予定)
主催/(特)いんざい子ども劇場
Tel.0476-46-6287
- ◆ **ジョイントコンサート♪
「音楽のタペ」
みやまさと(フルート)
新垣隆(ピアノ)**
ファルコン(アコースティックギター)
〈プログラム〉モルダウ リベルタンゴ他
新垣さんと、その教え子みやまさんは
千葉市出身です。みやまさんによる
素敵なアレンジでお送りします。
風景の浮かぶコンサートにおいでください。
5月28日(土)開場18:30 開演19:00
場所：千葉市美浜文化ホール メインホール
対象：小学生～大人
未就学児の入場はご遠慮ください。
参加費：子ども(小学生～高校生)1,800円
大人2,800円 (当日500円増し)
主催/千葉西おやこ劇場
Tel.043-272-1416
- ◆ **ライブパフォーマンス
「今みて新しいサイレント映画ライブ」**
活動弁士 斎藤裕子の語りと、ピアニスト
神崎えりの即興演奏でおくる無声映画の
三本立て、三世代で楽しめるライブです。
5月29日(日)開場18:00 開演18:30
場所：市川市文化会館小ホール
対象：小学生～大人
未就学児の入場はご遠慮ください。
参加費：子ども(小学生～高校生)1,500円
大人2,300円 (当日200円増し)
主催/(特)市川子ども文化ステーション
Tel.047-339-7744
- ◆ **永野むつみさん講演会**
①思春期編
6月19日(日)時間未定
場所：流山市内公民館(予定)
②幼児期編
6月28日(火)時間未定
場所：流山市生涯学習センター
対象：大人
参加費：未定
主催/(特)流山おやこ劇場
Tel.04-7152-0446
- ◆ **人形劇鑑賞会～お膝の上の
小さな人から大人まで～
「かえるくん・かえるくん」
人形劇団ひぼぼたあむ**
7月16日(土)時間未定
場所：流山市生涯学習センター
対象：乳幼児～大人
参加費：未定
主催/(特)流山おやこ劇場
Tel.04-7152-0446
- ◆ **第3回わくわく子どもフェス
ティバルinそでがうら
～あけてみよう!ドドドのどびら!～**
どん亀座の「キマグレ・サーカス」や
「亀ちゃんのピエロワークショップ」、
ミュージカル体験、パペット人形の
ショートコントなど盛りだくさん!
子どもから大人まで一日楽しめます。
6月26日(日)9:45～16:00
(キマグレ・サーカス以外は14:30で終了)
場所：袖ヶ浦市民会館
対象：乳幼児～大人
参加費：無料(プロの公演や、アートの
体験は参加費がかかります)
主催/(特)子どもるーぶ袖ヶ浦
Tel.0438-63-2850
- ◆ **0.1.2.3才児向け うたとおは
なしのじかん～わらべうた
表現教育研究所 大沢愛さん**
7月7日(木)開演10:30
場所：八千代市市民会館リハーサル室
対象：0～3才児親子
参加費：親子1,500円
主催/(特)子どもネット八千代
Tel.047-486-4699
- ◆ **きもだめし**
今年も上座公園のなが～い遊歩道を使って
行います。たくさんのお化けの中を歩き、
途中ミッションをクリアしてゴールを目指す、
とても勇気のいるきもだめしです。
7月17日(日)19:00～20:30
場所：佐倉市上座総合公園
対象：どなたでも
参加費：小学生以上500円
主催/(特)NPO佐倉こどもステーション
Tel.043-487-1655
- ◆ **砂の造形あそび
～お父さんも近所のお友だちも
みんなと一緒に作ろう!砂の造形～**
7月23日(土)10:00～14:00
場所：千葉市幕張の浜
対象：幼児～大人
参加費：未定
主催/(特)ならしの子ども劇場
Tel.047-451-3676
- ◆ **子ども縁日**
子どもが自分で考えたお店を出店します。
ひとりでの出店やグループでの出店など
形態も、お店の内容もいろいろです。
お金のやりとりを含めたお店の運営を
子どもが最後までやりぬきます。
あそびに来てください。
7月下旬(休日)午後
場所：印西市アルカサル
対象：子ども 参加費：無料
主催/(特)いんざい子ども劇場
Tel.0476-46-6287

※(特)は特定非営利活動法人を略しています
※参加申込、場所、参加費、時間等の問合せは
各主催団体をお願いします。

団体名	Tel.	団体名	Tel.
● NPO法人 野田子ども劇場	04-7124-8419	● 千葉西おやこ劇場	043-272-1416
● NPO法人 流山おやこ劇場	04-7152-0446	● NPO法人 こどもユニットWakaba	043-232-0045
● NPO法人 市川子ども文化ステーション	047-395-7670	● 千葉北おやこみるあそび会	043-241-1142
● NPO法人 市川子ども文化ステーション中央地区	047-332-3024	● NPO法人 緑区子どもサポートセンター	043-308-4436
● NPO法人 市川子ども文化ステーション北地区	047-339-7744	● NPO法人 千葉中央おやこ劇場	043-251-0142
● NPO法人 市川子ども文化ステーション行徳地区	047-395-7670	● NPO法人 四街道子どもネットワーク	043-423-5381
● NPO法人 子どもっとまつど	047-344-2272	● やちまたおやこ劇場	043-442-3257
● 浦安子ども劇場	080-6651-9175	● 長生茂原おやこ劇場	0475-22-3000
● NPO法人 船橋子ども劇場	047-424-0851	● NPO法人 子どもるーぶ袖ヶ浦	0438-63-2850
● NPO法人 ならしの子ども劇場	047-451-3676	● NPO法人 いちかわ市民文化ネットワーク	047-711-8813
● 白井子ども劇場	047-491-2163	● NPO法人 子育てネットワークゆっくっく	04-7129-8089
● NPO法人 NPO佐倉子どもステーション	043-487-1655	● NPO法人 里山会	047-482-4613
● NPO法人 子どもネット八千代	047-486-4699	● 千葉県子ども核廃	047-457-2065
● NPO法人 いんざい子ども劇場	0476-46-6287	● NPO法人 子ども劇場千葉県センター	043-301-7262
● NPO法人 子どもプラザ成田	0476-29-1387		